



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと



- 注意**
- 平鋼板製階段につきましては、十分な防錆処理(ケレン・錆止め・上塗り)を施してください。
 - 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないようにしてください。
 - タキストロンと溶接処理する場合は、段差が出来ないように仕上げてください。
 - 前垂れ部のタキシール幅が5mm未満、または5mm以上でも適正量打設できないと前垂れ部の強度が不足し、浮きが発生する恐れがありますので注意してください。
 - 端部処理は全周行うことを標準工法としております。
 - モルタル充填型の鉄骨階段には、ベンチレイシートを用いた通気緩衝工法を行ってください。
 - ベンチレイシートとナイスレイシートとの併用は出来ません。

1. 下地の確認・清掃

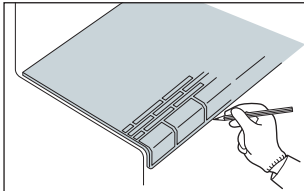
- 下地に割れ、欠け、極度の湾曲がある場合は施工できません。補修を行ってください。
- 砂、塵埃などを除去してください。

2. 裁断とけがき

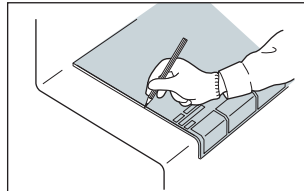
- スケール、直定規で階段の幅・奥行・前垂れ部の寸法を測定し、タキシールの仕上げ代として側溝は5mm以上、壁際は3mm程度の隙間が空くように裁断してください。

※平鋼板製階段の場合、タキシールがササラ面や蹴込み面にかからないように、端部に隙間を空けてください。

- 仕上げ寸法に裁断後、タキステップを施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆などで仕上がり寸法をけがいてください。



●階段全面に張る場合

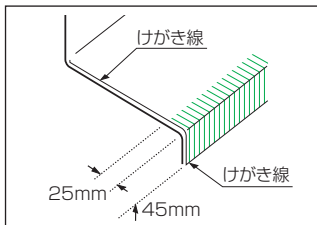


●階段の端部を開けて張る場合

3. 下地用プライマー液(タキボンド#625)の塗布

※プライマータキボンド#625 (別売)を購入してください。

図のように下地斜線部に(端部を開けて張る場合は、けがき線より5~6mm広く)タキボンド#625をハケで均一に塗布して20~30分間乾燥させます。タキボンド#625塗布面は汚さないように注意してください。また、1日以上乾燥させないでください。



●階段の端部を開けて張る場合

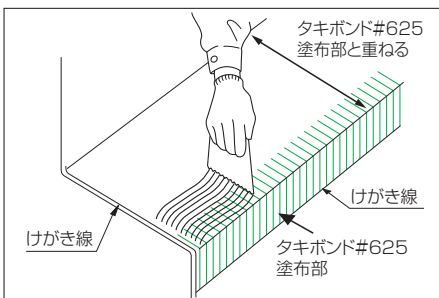
4. 接着剤の塗布

- 図のように踏み面部に床用接着剤をタキボンド#625塗布部と重ねるようにクシゴテで均一に塗布し、オープンタイムを30~40分程度取ってください。
- オープンタイムが短いと、初期の接着力が発揮されないため、タキステップが手前に押し出されたり、階段入り隅部に浮きが生じたりします。
- 張り付けは、最下段から上段に向かって行いますので、接着剤塗布後は張り付け作業者が最下段にいるようにしてください。

オープンタイムの目安(20℃)

接着剤	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンド#607	20~30分	40~50分
タキボンド#601	30~40分	60~70分
タキボンド#701	30~40分	50~70分

※5℃以下(気温・下地)では使用しないでください。(硬化反応が進みません。)

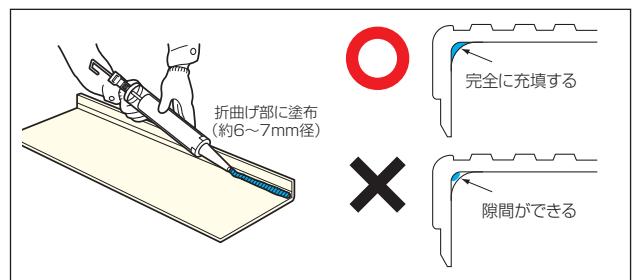


5. 両面テープの剥離紙の剥がし

タキステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

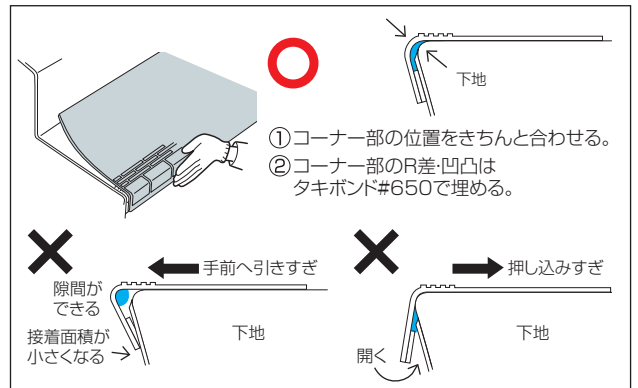
6. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

- タキステップ裏面の折曲げ部(段鼻部裏面)にタキボンド#650を、コーキングガンで約6~7mm径の太さで均一に塗布してください。
- タキボンド#650を塗布しなかつたり、塗布量が不十分な場合、**段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがあります**ので、注意してください。
- 下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、**別売品を追加購入してください**。



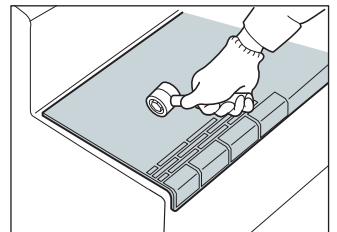
7. タキステップの張り付け

タキステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)に当てがい、下地とタキステップの折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。



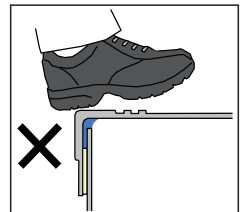
8. 圧着

タキステップ全面をハンドローラーで十分に圧着してください。**タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。**(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)



9. 養生(1~2日)

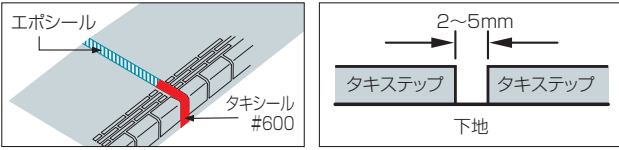
- 接着剤が硬化するまで1~2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 段鼻充填剤タキボンド#650の硬化には2~3日必要ですので、次工程の処理の際などに**段鼻を踏まないように注意**してください。(段鼻に力がかかると#650が流動したまま硬化し、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがあります。)
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、重量物の運搬などは避けてください。



10. 継目処理

- タキステップ同士の継目はエンボスの谷間で2~5mm程度の隙間を空け、マスキングテープで養生後、右図のように継目処理を行ってください。
- エポシール・タキシールが硬化するまで、最低2~3日養生してください。**養生時間は気温によって左右されますので、十分ご注意ください。

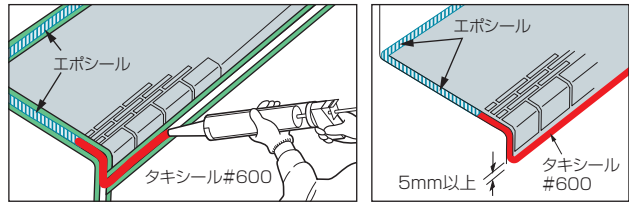
踏み面部	段鼻部
エポシール	タキシール#600



11. 端部処理

- タキステップの全周をマスキングテープで養生し、右図のように端部処理を行ってください。
- タキシールは幅が5mm以上になるように仕上げ用ヘラなどで処理してください。
- マスキングテープは仕上げ後、直ちに取り除いてください。
- ※平鋼板製階段の場合、エポシール・タキシールがササラ面にかからないように、隙間を空けて踏み面部で処理してください。

踏み面部	段鼻部
エポシール	タキシール#600



12. 養生(2~3日)

- シール材が硬化するまで、2~3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため)また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。(継目にシール材を使用する場合は特にご注意ください。)
- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用する場合、換気を行い、引き渡しまでに数日期間を設ける等の配慮をしてください。

プールサイド用

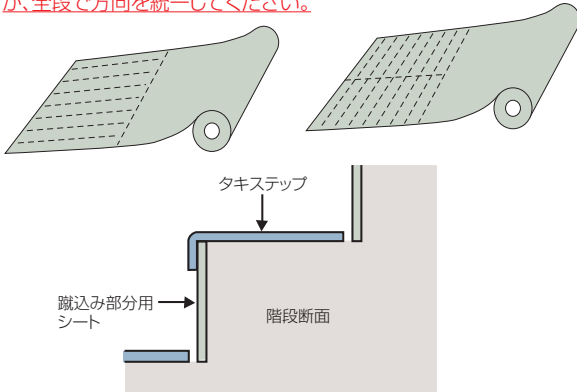
蹴込み部分用シートCW (3X・3K用)

施工方法

⚠ 下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

1. 蹴込み部分用シートの施工

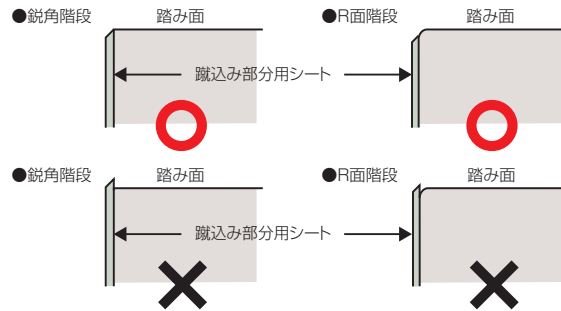
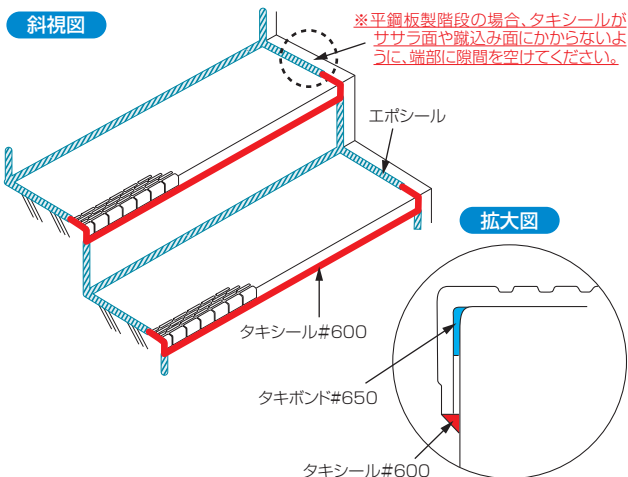
- 蹴込み部分用シートを張付けてからタキステップを施工してください。
- ※蹴込み部分用シートの流し方向は、縦・横どちらの方向でも結構ですが、全段で方向を統一してください。



2. 蹴込み上端部の断裁

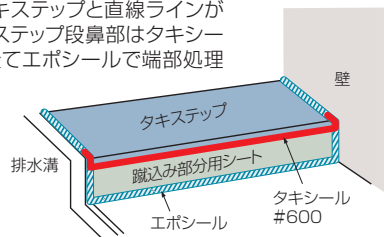
- 蹴込み上端部の断裁は専用接着剤で張り付けてから、下図のように踏み面より短く、斜めカットしてください。

標準納まり図



3. 端部処理

- 側面端部の仕上げはタキステップと直線ラインが得られるようにカットし、ステップ段鼻部はタキシール#600、それ以外は全てエポシールで端部処理します。
- エポシールは幅5mm以上(目安は5~7mm)になるように仕上げ用ヘラなどで処理してください。



- 立ち上がり面の施工ではエポシールが垂れますので、混合カートリッジ充填後、2時間~半日程度放置してからご使用ください。

副資材標準使用量一覧表

		タキボンド				段鼻部	踏み面周囲
		#607 #601	#701	#625	#650	タキシール #600	エポシール
1800 タイプ	蹴込み部分用 シート無し	78段/ 18kg	78段/ 16kg	31段/ 400g	5段/本	10段/本	25段/ 2kg/セット
	蹴込み部分用 シートあり	50段/ 18kg	50段/ 16kg	31段/ 400g	5段/本	10段/本	23段/ 2kg/セット

- タキボンド#650はタキステップに付属されていますが、下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス
注意
P.333